

CONTENTS

第1章 債券ポートフォリオ戦略

[1] 利回りの種類	2	3 . 「価格・利回り曲線」と投資戦略	37
1 . 複利利回りと割引率	2	4 . 金利変動リスク	40
2 . 年金現価係数と複利現価係数との関係	4	[5] デュレーションとコンベクシティ	42
3 . 連続複利計算の割引係数	6	1 . デュレーション	42
4 . 内部収益率	7	2 . 価格変化額の計算	46
5 . パー・イールド	7	3 . デュレーションを用いた投資戦略	48
6 . 実効利回り	8	4 . 債券の価格変動性リスク	49
[2] スポット・レートと利回り曲線	10	5 . 月次ベースと累積ベースの期待値・標準偏差	49
1 . スポット・レートと利回り曲線	10	6 . イミュニゼーション戦略	52
2 . フォワード・レート	13	7 . デュレーションを利用した予想価格	54
3 . スポット・イールド・カーブの形状	14	8 . コンベクシティ	57
4 . パー・レートとスポット・レート	15	9 . 債券の価格変化の分解	62
5 . パー・イールドとスポット・レートの関係	18	10 . コンベクシティによる投資戦略	64
6 . スワップ・レート	19	[6] バーベル・ブレット分析	66
7 . 利回りの期間構造理論	22	1 . バーベル・ブレット分析の狙い	66
[3] 利回り曲線の主成分分析	24	2 . バーベル・ブレット分析	67
1 . 主成分分析表の見方	24	3 . イールド・カーブと投資戦略(再掲)	74
2 . 各ファクターの変化	25	[7] 債券ポートフォリオ戦略	82
3 . 各ファクターの符号と利回り曲線の形状変化	28	1 . 債券ポートフォリオ戦略の分類	82
4 . 将来の景気見通しと利回り曲線の形状	29	2 . アクティブ運用	82
5 . 主成分分析と債券ポートフォリオ戦略	33	3 . イールド・カーブ戦略	82
6 . 利回り曲線の形状変化の原因	33	4 . フォーミュラ運用	84
[4] 債券の価格変動リスク	36	5 . パッシブ運用	87
1 . 価格変動リスク	36	6 . インデックス運用の方法	88
2 . 価格と利回りの関係	36	7 . インデックス運用のメリット・デメリット	89
		8 . マッチング戦略	90
		9 . ファクター・モデルによるポートフォリオの構築	104

第2章 株式ポートフォリオ戦略

[1] 株式の評価モデル	114
1 . 3つの評価モデル	114
2 . 配当割引モデル	114
3 . リスク・プレミアム	118
[2] 株式価値の算定アプローチ	122
1 . フリー・キャッシュフロー割引モデル	122
2 . 残余利益モデル	126
[3] 現代ポートフォリオ理論	134
1 . ポートフォリオの期待値と分散	134
[4] 最適ポートフォリオの決定	138
1 . 投資家の選好	138
2 . 有効フロンティア	141
3 . 最適ポートフォリオの決定	143
4 . 無リスク証券を含む最適ポートフォリオの決定	144
5 . 有効フロンティア直線	147
6 . 最適ポートフォリオの投資比率の決定	148
7 . 資本市場線	150
[5] マーケット・モデル	152
1 . マーケット・モデル	152
2 . 期待値・分散の分解	155
3 . 決定係数	156
4 . 市場モデルと分散投資効果	159
5 . 証券特性線	160
6 . 1次回帰直線の仮説検定	161
[6] 資本資産評価モデル	164
1 . 資本資産評価モデル	164

2 . CAPMによる株式評価	166
3 . CAPMと証券特性線	166
[7] 株式のスタイル分析	168
1 . 株式投資のスタイル分析	168
2 . ファンド・マネジャーの運用スタイル	170
[8] ファクター・モデルとAPT	172
1 . ファクター・モデル	172
2 . 裁定価格理論	174
[9] 株式のポートフォリオ戦略	180
1 . 株式のアクティブ運用とパッシブ運用	180
2 . パッシブ運用の手法	182
3 . インデックス運用	184
4 . トラッキング・エラー	185
5 . エンハンスト・インデックス運用	186
6 . アクティブ運用の投資情報作成	187
7 . 株式アクティブ運用	188
8 . 株式アクティブ・ポートフォリオの構築	189
9 . アクティブ・マネジャーの評価	192
10 . アクティブ運用の長所と短所	194
11 . アクティブ戦略の例	194
[10] 売買執行のリスクとコスト	198
1 . インプリメンテーション・ショートフォール	198
2 . 売買執行のプロセスとコスト	198
3 . トータル・コストの管理	201

第3章 デリバティブと投資戦略

[1] 先物取引	204
1 . デリバティブの理論価格	204

2. 先物取引	205	1. ヘッジ戦略	274
3. 先物価格の決定	206	2. コンビネーション戦略	276
4. 先物取引の利用方法	211	3. パーティカル・スプレッド戦略	278
[2] 債券先物取引	214	4. バタフライ・スプレッド戦略	280
1. 日本の債券先物取引	214	[9] ポートフォリオ・インシュアランス	288
2. 先物理論価格	217	1. ポートフォリオ・インシュアランスの意味	288
3. ショート・スクイーズ	219	2. プロテクティブ・プット	288
[3] 株価指数先物取引	220	3. ダイナミック・ヘッジング	289
1. 株価指数先物取引	220	4. ポートフォリオ・インシュアランスの長所・短所	290
2. 株価指数先物取引とポートフォリオ・マネジメント	221	5. ポートフォリオ・インシュアランスの構築	291
[4] オプション取引	222	[10] オプションによる企業価値	300
1. オプション	222	1. 企業価値の分解	300
2. オプション取引のペイオフ図	223	2. 株式価値の複製	303
3. オプションの理論価格	230	[11] 金利デリバティブ	304
[5] オプション・プレミアム	240	1. 金利先物取引	304
1. オプション・プレミアムの構成	240	2. F R A	306
2. オプション・プレミアムの決定要因	242	3. 金利スワップ取引	308
3. リスク・パラメータ	246	4. スワップション	316
[6] オプションの評価モデル	254	5. 金利キャップと金利フロア	320
1. 二項分布モデル	254	6. 金利カラー	324
2. リスク中立確率を用いるオプション価格	256	[12] オプション内蔵型債券など	326
3. 等価ポートフォリオ複製によるオプション価格	258	1. コーラブル債	326
4. ブラック = ショールズ・モデル	263	2. プッターブル債	330
[7] オプションによる裁定取引	268	3. コーラブル債の価格変動性	330
1. オプションと現物の裁定取引	268	4. プッターブル債の価格変動性	332
2. オプションと先物の裁定取引	269	5. コーラブル債及びプッターブル債のデュレーション	334
[8] オプションの投資戦略	274	6. インフレ連動債	335

第4章 投資政策とアセット・アロケーション

[1] 投資政策	338
1 . 投資政策	338
2 . P Mのプロセスと投資政策	340
3 . 投資政策理解のための諸概念	341
[2] 企業年金の投資政策	342
1 . はじめに	342
2 . 投資目的	343
3 . 年金債務	343
4 . 年金債務の概念	344
5 . A L M分析	345
6 . サープラス・アプローチ	348
[3] アセット・アロケーションの概要	358
1 . アセット・アロケーションの概要	358
2 . アセット・アロケーションの構造	358
3 . アセット・アロケーションの決定	359
4 . ポリシー・アセット・アロケーション	360
5 . アセット・ミックスの決定	361
6 . アセット・アロケーションの変更	362
[4] タクティカル・アセット・アロケーション	364
1 . タクティカル・アセット・アロケーション	364
2 . T A Aの手法・手順	365
[5] ダイナミック・アセット・アロケーション	370
1 . ダイナミック・アセット・アロケーション	370
2 . 凸戦略・凹戦略とベイ・オフ	372
3 . リスクの時間分散効果	374
4 . パッシブ・コア・プラス・アクティブ戦略	374

第5章 国際分散投資

[1] 国際分散投資の効果	378
1 . 国際分散投資	378
2 . 市場の分断	378
3 . 国際分散投資の効果	378
4 . 国際分散投資の手法	380
5 . カントリー・アロケーション	381
6 . フォワード・ディスカウント・バイアス	382
7 . ソブリン・リスク	382
8 . 国際資本市場の統合と自国バイアス	383
9 . 為替オーバーレイ・マネジャー	384
10 . 国際分散投資の他の重要ポイント	385
[2] G A Aの投資収益率	386
1 . 為替リスクと金利裁定理論	386
2 . 外国証券への投資リターンとリスク	387

第6章 パフォーマンスの測定と評価

[1] 収益率の測度	392
1 . 収益率測度	392
[2] リスク調整後の収益率の測度	396
1 . 投資パフォーマンス	396
2 . 投資パフォーマンスの測定・評価の2つの側面	396
3 . リスク調整後収益率測度	397
[3] リスクとなる制約条件	402
1 . ショートフォール・リスク	402
2 . バリューストック・リスク	404
[4] パフォーマンスの要因分析	406
1 . パフォーマンスの要因分析	406

[5] ユニバース比較とベンチマーク比較	410
1 . ユニバース比較による評価	410
2 . ベンチマーク比較による評価	411

第 7 章 オルタナティブ投資

[1] オルタナティブ投資	414
1 . オルタナティブ投資	414
2 . オルタナティブ投資の魅力	415
3 . オルタナティブ投資の問題点	418
[2] 資産の証券化	420
1 . 証券化の関係者	420
2 . 証券化の意義	423
3 . 証券化商品のリスク	424
4 . 証券化商品	426
5 . 信用補完方法	432
6 . J - R E I T	433
[3] 各論	436
1 . プライベート・エクイティ投資	436
2 . 証券化商品	439
3 . マネージド・フューチャーズ	440
4 . ヘッジ・ファンド	441

第 8 章 信用リスク・行動ファイナンス

[1] デフォルト資産の評価	446
1 . 信用リスクモデル	446
2 . 誘導型アプローチによるデフォルト資産の評価	447
3 . 財務データによるデフォルト確率の推定	452
4 . オプション・アプローチによるデフォルト確率の推定	454

[2] 行動ファイナンス	460
1 . 投資家のバイアスの諸形態	460
2 . ノイズトレーダーリスク	460
3 . クローズドエンドファンド・パズル	461

(巻末) 付表 1 複利終価表	464
付表 2 複利現価表	464
付表 3 年金終価表	465
付表 4 年金現価表	465
付表 5 標準正規分布表	466
付表 6 t 分布表	467
付表 7 ギリシャ文字の読み方	468